

■3年間の主な取り組み(道路政策・財政重視)

【財政改革・無駄の排除】

- 人件費削減の中身を質し、「職員削減ありき」ではない運営を提案しました。
- 時間外手当・災害対応における職員負担の状況を質しました。
- 無駄と思われる経費(印刷・配送・備品など)を指摘し、改善を求めました。
- 施設運営のあり方(天下りの運用)見直しを求めました。
- 「前例踏襲からの脱却」を市に対して求めました。

過去三年間、重点的に取り組んできた内容です。



【箱モノ行政への問題提起】

- 子ども館・立体駐車場などの維持費・将来負担を課題として取り上げました。
 - 加音ホールの修繕費(約4.5億円)を示し、再検証するように提言しました。
 - 箱モノ事業は「建てた後に財政を圧迫する構造」を議会で質しました。
 - 市民の生命・安全に関係しない事業は先送りすべきと提言しました。
- ※ 結果、3億7千万円も要する立体駐車場計画は平面駐車場へ変更となりました。

【道路政策(重点分野)】

- 道路整備が税収増につながる仕組みを議会で説明しました。
- 「道路はコストではなく投資」であることを議会において強調しました。
- ウォークアブル・無電柱化など将来価値を見据えた整備を提言しました。
- インフラ投資は、人流増加→企業進出→固定資産税増という好循環を市にもたらす考えを示しました。

【公平課税・税収確保】

- 固定資産税の不公平課税実態を質しました。
- 未登記・賦課漏れの問題改善を求めました。
- 全棟・全筆調査の必要性を指摘しました。
- 「税の公平性＝市民の信頼」と位置付けました。

【公文書管理(行政の根幹)】

- 「文書が存在しない」問題を議会で迫りました。
- 公共事業と文書管理の問題点を指摘しました。
- 電子決裁・改ざん防止の制度導入を提案しました。
- 斎場タイル落下を例に管理不備を問題視しました。

△小田原の履歴▽

昭和三十年 旧吉松町 生まれ

鹿児島県立鶴丸高校から鹿児島大学卒

(株)タイヨー

昭和五四年 始良町役場に奉職

昭和五五年 難病により始良市役所早期退職

平成二八年 合同会社 MS総合企画を設立

同年 鹿児島県行政書士会に所属

同年 難病治療に専念 ↓ 寛解

《他履歴》

始良小PTA会長(8期)

始良町職員組合副執行委員長

始良PTA連合会会長
始良校区青少年育成協議会会長
…他

花言葉

先月まで黄色の臘梅で華やかだった庭では、代わって我が物顔に咲き誇る中国由来と云われるトキワマンサク、花言葉は「不思議な力」、その横で白色の花芯から外側に向けて鮮やかなピンクのオトメツバキは「慎み深さ」とか。私の性格とは対照的な二つの花が、今年も春の訪れを教えてくれました。



オトメツバキ



トキワマンサク

